

令和7年度第1回 岐阜市立女子短期大学運営委員会報告書

- 1 日 時 令和7年8月25日(火) 13時25分～14時55分
- 2 場 所 岐阜市立女子短期大学 大会議室
- 3 出席者 (1) 外部委員(1号委員) 出席3名
片岡委員、後藤委員、近藤委員
(2) 学内委員(2号委員) 出席4名
大田学長、福村副学長、小野附属図書館長、伊藤事務局長
- 4 次 第 (1) 令和6年度実績について
(2) 入試改革、広報について
(3) 岐女短ビジョンの改定について
(4) 将来構想について

5 委員の意見

○意見1

出生率が減っている状況で、入学者数が減ることは自然なことであるが、その中で志願者確保に向けては、岐女短のブランド力を生かすことや、私立大学に比べて経済的負担が少ないこと、四大と比べて学ぶ内容から将来の仕事のイメージが付きやすいこと、また、二年次にもっと学びたいと思った際には編入という選択肢があることをアピールするとよいと考える。

○意見2

今の若者は物静かで優しい人が多いため、地域住民と関わりを持っていけるような積極性やコミュニケーション力を持った学生を輩出してもらいたい。

○意見3

栄養士は、調理をするだけでなく、商品開発において、栄養学の観点で役割を果たすことができるため、就職に強い。

○意見4

新大学について、学部名はまず目に入るものであるので直観的に学ぶ内容が分かるものにするとよい。教育内容についても、資格や就職先といった具体的なイメージが付く学部に人気が集まっているため、岐阜市をフィールドに地域貢献した先にどのような将来が待っているか説明ができると魅力が伝わると考える。

○意見5

全国的に教員が不足しているため、公立大学として、教員課程を組み込んで、岐阜市の教員を増やす、または転職時に教員となる選択肢を作るよう検討してもらいたい。